

休館日=月曜日 開館時間=午前9時30分~午後6時 ※ただし、観覧券の販売は午後5時30分まで 観覧料=一般1,000円(800円)、大学生・高校生800円(600円)、中学生以下無料 ※()内は団体(20名以上)・リピーター割引料金(本展観覧券の半券提示で2回目は団体料金に割引) ※会期中は、本展の観覧券で「コレクション展」もご覧いただけます ※障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方および一部の介助者は無料(受付でご提示下さい) 主催=新潟市美術館 特別協力=丸沼芸術の森

新潟市美術館
Niigata City Art Museum

T 951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9 tel. 025-223-1622 fax. 025-228-3051

丸沼芸術の森所蔵

ベン・シャーン展

BEN SHAHN

6.16 tue →
7.29 wed



Ben Shahn

わたしは憎むものを描く。わたしは愛するものを描く。



《麦の穂》
1969年 リトグラフ、紙
© Estate of Ben Shahn/WGA or A&S, NY/J&PA&C, Tokyo 2020 E3724

わたしは
憎むものを描く。
わたしは
愛するものを描く。

アメリカを代表する画家の一人、ベン・シャーン（1898-1999）。世界恐慌から世界大戦を経てベトナム戦争へ。社会情勢が大きく変わる1930年代から60年代にかけて、激動のアメリカを生きました。10代から石版工房で見習いをはじめ、働きながら学校に通ったシャーンは、社会的事件に目を向け、人々の心に寄り添うようにして、制作を続けました。

ヒューマニズムの姿勢に貫かれたシャーンが描き出すその線描は、まるで怒りに震え、優しさで滲むように対象の思いを画面に響き渡らせます。丸沼芸術の森が所蔵する約300点の水彩やペンペラ、インクなどによる作品の数々は、シャーンの指の動きを、そのままに感じ取ることができる貴重な作品ばかりです。本展では、選りすぐりの約170点の作品を展示します。

あわせて、シャーンを初めて日本に紹介した新潟出身の画家・写真家阿部展也との交流を、シャーンから阿部に贈られた《ペンを持つ手》（当館新収蔵）や写真資料などからご覧いただけます。



《目の穂の収穫》
1963年 リトグラフ、紙
© Estate of Ben Shahn/WGA or A&S, NY/J&PA&C, Tokyo 2020 E3724



《穂に取り囲まれる顔（ヘッド）》
1959年 インク、紙
© Estate of Ben Shahn/WGA or A&S, NY/J&PA&C, Tokyo 2020 E3724



《祈り（133）》
1963年 リトグラフ、紙
© Estate of Ben Shahn/WGA or A&S, NY/J&PA&C, Tokyo 2020 E3724

関連情報

- ① 講演会「ベン・シャーン ～一筆の穂の最初の言葉が生まれるまで～」
荒木廣子氏（福島県立美術館副館長兼学芸部長） 7月25日（土）/午後2時から（90分程度）
※会場：当館2階講堂 ※参加無料、先着100名
- ② 美術講座「ベン・シャーンと阿部展也」
講師：松沢寿重（新潟市新潟美術館館長） 7月4日（土）/午後2時から（90分程度）
※会場：当館2階講堂 ※参加無料、先着100名
- ③ ガラリートーク（原覧会担当学芸員による解説）
6月28日（日）、7月12日（日）/各日午後2時から（30分程度）
※直接企画展示室にお越しください。※当日の観覧券が必要となります。

同時開催

- ◎コレクション展Ⅱ 6月16日（火）～12月6日（日）
【コレクション展ギャラリートーク】
6月27日（土）、7月26日（日） 各日午後2時から（30分程度） ※当日の観覧券が必要となります。
※ふれあい美術館ガイド（美術館協力会ボランティアによるご案内と解説）
6月28日（日）、7月19日（日） 各日午前11時から（30分程度） ※当日の観覧券が必要となります。
◎Lounge N きまぎプログラム22
6月16日（火）～7月29日（水） いつでもどれでも無料でご参加いただける気軽な芸術プログラムを提供しています。
- 新潟市新潟美術館の展覧会（tel.025-228-1300）
「不思議の国のアリス展」6月27日（土）～9月6日（日）

